

# 平成26年度当初予算 予算要求シート

整理番号	10 - 022	マスタープラン 3つの挑戦	マスタープラン 施策番号	5 - 2	局・課名	環境局・クリーンセンター管理課
区分	その他一般施策					(単位 千円)

事業名	資源ごみ	平成24年度決算額	平成25年度予算額	平成26年度要求額	
関連事業	減量化・資源化推進事業 ごみ啓発	事業費	318,813	319,648	
		事業期間	H7 ~ H	全体事業費	
事業目的	今年度要求のポイント				
	<p>家庭から分別回収された缶・びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型金属の選別・圧縮等の中間処理を施し、資源として再利用することにより、ごみの排出量、焼却量を削減し、循環型社会を構築していくことを目的とする。</p> <p>異物等が混入することにより、適正に排出された資源ごみにまで汚れが付着しリサイクル出来なくなることから、適正な分別排出の周知・理解についての啓発活動を行うとともに、資源ごみの適正選別を行うための施設維持管理に係る予算を要求する。</p>				
事業内容	主要要求内容 (単位：千円)				
	分別回収される資源の貯留や選別等の中間処理、貯留・処理施設の維持補修を実施する。	項目	25年度予算	26年度要求額	内容・積算等
	①缶・びんの中間処理、処理施設（リサイクルプラザの運営、設備の維持補修、畑選別場の運営） 年間 6,820 t	施設維持管理経費	31,776	37,708	光熱水費、修繕料等、消耗品、原材料費
	②ペットボトル・プラスチック製容器包装の中間処理（委託処理）、小型金属の再生、一時貯留施設の運営、維持補修 年間 ペットボトル 1,900 t プラスチック製容器包装 6,100 t 小型金属 285 t	委託料	216,901	217,616	ペットボトル選別圧縮梱包業務、プラスチック製容器包装選別圧縮梱包業務、リサイクルプラザ選別作業等業務、他委託業務
		手数料	69,660	71,772	再商品化処分手数料等
		備品購入費	0	11,016	塵芥車両等
		その他	1,311	1,299	
		合計	319,648	339,411	
スケジュール（経過及び今後展開）			その他 特記事項		
【経過（～25年度）】	【26年度】	【今後（27年度～）】			
缶・びんに加えペットボトル・プラスチック製容器包装・小型金属の分別収集に伴う中間処理業務を開始する。	老朽化した資源化施設の維持補修資源物の適正処理	引き続き、安定的な中間処理及び適切な施設の維持補修を実施する			